

国民の目耳ふさぎ口封じ



危  
民主主義が  
ない

# 秘密保護法案 ストップを

安倍内閣が閣議決定し、今国会で成立を狙う秘密保護法案—日本共産党は同法案に断固反対のアピールを出し、民主主義を守る一点での共同を広げています。

日本共産党

## 何が秘密が秘密!?

いったい何が秘密なのか、「秘密の範囲」がきわめて曖昧で不明確です。さらに何が「特定秘密」かは政府＝「行政機関の長」が決めることができ、秘密の範囲は際限なく広がります。

## 最高で懲役10年

最高で懲役10年という重い刑罰で国民に「秘密保持義務」を課します。「特定秘密」を取り扱う公務員や契約企業の労働者には「適正評価」と称し、身辺調査も。調査対象は家族や同居人にも及びます。

## 秘密保護法案の問題点

### 国会の立法権、国政調査権を制限

国会議員や国会職員も秘密を漏らせば処罰対象。重要問題で国会が政府を監視し、チェックすることは不可能になります。

### 「海外で戦争する国」へ

安倍政権は同法案を、国家安全保障会議設置法案と一体で成立を狙っています。日米軍事一体化をさらにすすめるうえで、国家が強制的に情報を統制し、国民の言論・表現を規制するのがねらいです。

●真実がわかる 明日が見える—「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2013年  
10月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所  
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461  
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。